

トキ 野生復帰にむけて 51

「トキ試験放鳥・市民の集い」を開催しました

12月14日、市の主催で「トキ試験放鳥・市民の集い」を開催しました。この集いでは、試験放鳥されたトキの近況を市民にお知らせするとともに、市長が市民と、佐渡で人とトキとが共生していくための方向について話し合いました。

まず、環境省佐渡自然保護官事務所が、トキ放鳥の経過や確認されているトキの状況を報告しました。
次に、環境省のモニタリング（追跡調査）チームとともにトキの調査をしているトキモニターボランティアが活



動報告をしました。10羽のトキが試験放鳥された当日、雨が降り、トキがそれぞれに行動したため、追跡が困難であったことなどを振り返りました。

「市長と語ろう『トキ放鳥と佐渡』」では、市長や、トキ野生復帰にむけて取り組んできた活動団体など7名のパネリストの意見発表、市民との意見交換を行い、分散飼育については「分散飼育はやむをえないが、分散飼育＝一般公開、自然放鳥では困る」「島内においても分散飼育はできるのではなか」と「分散飼育されてもトキを見たら佐渡だ！トキのふるさとには佐渡なんだ」という図式を今から確認するものにし、佐渡がイニシアチブ（主導）を取るように気持ちでいた方が良く」というような意見も出ました。

会場に集まった約150名の市民の皆様の中からも「トキのエサ場となるよう、生きものが増えるビオトープの作り方を教えてほしい」や、「私たちの地区に来ているトキがエサ場にしている田んぼは、昔からの小さな田んぼです。そういった田んぼは、農作業や維持が大変で、お年寄りが何とか頑張っ

て作っており、トキだけでなく、佐渡の人も豊かに暮らせる佐渡にしたい」などの意見が出されました。
また、「写真を撮るためにトキに近寄

りすぎる人がいる。トキが心配だし、田んぼの畦を踏まれて畦が壊れてしまう」「トキを遠くから見ているだけでいいのでしょうか」など、トキを心配する声や、トキとの関わり方についての意見などもありました。

最後に市長は、「市民の方々と本心で話せてうれしく感じました。佐渡の自然に放たれ、今後も放たれるトキと、私たちがどう向き合うか、また、市として今後何をすべきかについて、市民で議論し、意思を明確にするときだと思います。そして、市民自らの力でトキに対応していく仕組みを作っていくかなくてはいいけません」と決意を話しました。



佐渡トキファンクラブへ入ろう!!

インターネット上のホームページにて、トキの生態や野生復帰に向けた取組みなどトキに関する情報を提供しています。また、会員登録(無料)すると毎月1回メールマガジンでトキの最新情報が配信される他、会員限定のプレゼント企画の特典があります。



【ホームページ】
http://toki-sado.jp/fanclub/

トキとの共生ルール

トキのために知っておいていただきたい最低限のマナーです

1. 優しく静かに見守りましょう
双眼鏡などで遠くから静かに観察しましょう。
2. トキに餌づけをしないようにしましょう
トキは野生生物です。餌を与えるのではなく、餌が豊富な自然を再生していきましょう。
3. トキを観察するときは地域に迷惑をかけないようにしましょう
トキは集落周辺の水田、草地、沢などで餌をとり、木の上に巣をつくります。観察するときは、無断で私有地や農地に立ち入らないでください。また、農道や林道に車を駐車して通行の妨げにならないようにしましょう。